

異分野研究交流

2026年度第4回 行動科学・サバイバーシップセミナー

テーマ

環境音楽と医療

講師

東京藝術大学 先端芸術表現科

教授 **古川 聖先生**

東京藝術大学 共創拠点推進機構

特任講師 **柴 玲子先生**

日時

2026年7月28日(火) **16:30~17:30**

開催形式

完全WEB開催 (Zoom)

参加費

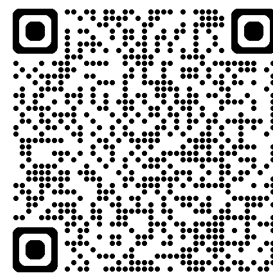
無料

参加申込

QRコードまたはURLよりお申込みください

<https://forms.gle/z5iows2sKRPTfEfWA>

(セミナー終了時間までお申込みいただけます)



セミナー要旨

アリストテレスの昔からリズムやメロディが人間の心に働きかけ多様な感情や気分を喚起することが知られてきました。私たちが取り組んでいる、医療の場において、そこにある家具のように、そっと患者たちに寄り添っていく音楽、音の環境を自動生成するプロジェクトについて話したいと思います。

講師プロフィール

古川 聖先生：ベルリン芸術大学、ハンブルク音楽演劇大学にて作曲を学ぶ。スタンフォード大学で客員研究員、ハンブルク音楽演劇大学で助手、講師を経てドイツ、カールスルーエのZKMでアーティスト研究員。作品は新しいメディアや科学と音楽の接点において成立するものが多い。

柴 玲子先生：筑波大学 大学院博士課程 医学研究科 博士(医学)。脳科学・音楽認知科学の立場から、音楽が私たちに与える影響を研究しています。アートが人と人をどのようにつなぐのか、そのしくみを科学の力で明らかにしていきたいと考えています。

主催

SaQRA(日本がんサバイバーシップ研究グループ)

国立がん研究センターがん対策研究所(行動科学研究部、サバイバーシップ研究部)

早稲田大学人間科学学術院

名古屋市立大学大学院

東京慈恵会医科大学がんサバイバーシップ・デジタル医療学講座

問合せ先

SaQRA事務局 saqra_contact@ml.res.ncc.go.jp